

中里北部連合町内会ニュース



第 74 号

発行責任者：
中里北部連合町内会
会長 奥田 妙子

発行日：2021 年 2 月 22 日

新年を迎えて

副会長 久保木 俊男



本年度は、新型コロナウイルス感染症の発生・拡大に伴い、緊急事態宣言が発出されて、いつもと違う年となりました。

三蜜を避けるために、連合町内会で計画していた「運動会」「スタンプラリー」及び「ふるさとマラソン大会」等の行事が相次ぎ中止になりました。

また、感染のリスクを高めるということで、大人数での会議の自粛要請もあり、連合町内会の定例会議は、たちばな台町内会館を借用して、会議室の換気・消毒・出席者の少人数化など工夫を凝らして、最低限の開催となり、新任の自治会・町内会長・委員との大切なコミュニケーションも不十分な面があったと感じています。

さらに、地域住民の方々が主催する夏祭りなども中止となり、意見交歓の場がなくなり残念なことでした。

次年度から、鴨志田地域ケアプラザを連絡窓口とした「気づきの和連絡会」プロジェクトを本格的にスタートさせ、誰もが主体的に、街の変化に目を配り、気づきの輪を広げ、高齢者や子どもの見守りだけでなく、地域全体の防犯・防災につながる情報を共有し、問題が重大化する前に早期解決を目指す活動に取り組んでいきたいと思っています。

日頃から、地域の結束や絆を深め、お互いに見守り助け合いながら、重点目標の、「安心・安全」に暮らせ誇れる街づくりを、地域の住民・小中学校・大学・各団体の協力や支援を得て築いていきたいと思っています。

本年も、会員様からのご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、新型コロナウイルス感染症が、一日も早く収束することを祈ります

たちばな台西自治会

【火の用心！コロナ用心！感染用心！】

正路 薫



「白梅の下で」

たちばな台第三公園の白梅が今年もきれいに咲き、心が和みます。公園清掃後の青木会長を呼び止め携帯で撮影しました。当自治会は雨や雪でない限り、毎月第四木曜日の夜に防犯パトロールを実施しています。

たちばな台第三公園に6時55分集合し、青木会長をはじめ、防犯係、当番班長、役員等、子ども会の方、ボランティアを含め10名程で2手に分かれて巡回パトロールをします。

昔懐かしい拍子木を打ちながらの巡回です。
拍子木は結構重く冬の寒さで手が痛くなることもあります。青木会長と防犯係の男性が頑張ってくれています。
7時過ぎには、お近くの通りで拍子木の音が・・・
コロナ禍での憂鬱な日々の中ですが、耳を澄ませて拍子木の音を聞いて見るのも風情があっていいですよ！！



「町内防犯パトロール実施の様子」

寺家町内会の紹介

会長 大曽根 竹夫

横浜市の北端に位置する青葉区の、さらにその北端に近く、町田市と川崎市に接して寺家町があります。

寺家町は、農地（畑・田）や山林が宅地の半分以上有る自然豊かな町である。
自然豊かな町（寺家町）の為、四季折々の田園風景を身近に体験できます。
春は、桜が咲き誇り、初夏は青々と稲が育つ田、また夏から秋は梨・ブドウ等果実が取れ、田は黄金に実って刈り取りを待つ寺家の最も良い風景です。
冬は市街地では見られない霜一面真っ白な畑、こんな町がいつまでも続けばいいと思います。



「寺家町内会館」

現在寺家町内の総戸数は約70戸ですが、最近では徐々に増えてきています、今年には十数世帯が寺家町住民に加わることで寺家町も変わっていくと思います。

グリーンヒル鴨志田西団地 自治会

会長 橋本 加奈



昨年4月に、グリーンヒル鴨志田西団地自治会の役員をお引き受けした時には、既に新型コロナの影響で様々な行事が中止、延期となっていました。

例年なら、自治会会員の健康維持、地域の環境衛生向上の為、年4回団地住民と日本体育大学との合同美化活動を行っていました。

又、12月には炊き出し訓練を兼ね、有志方々の家庭菜園で採れた美味しい野菜で作る豚汁作りと子ども達が楽しみにしていたお餅つきも、炊き出し模擬訓練のみとなってしまいました。

私自身の任期も残り僅かとなりますが、次年度には様々な行事が心おきなく開催される様祈るばかりです。

グリーンヒル鴨志田東団地 自治会

会長 津田 富美子

鴨志田東団地自治会は、毎年各棟から1名ずつ選出された計8名の役員で構成されています。

主な活動内容は以下の通りです。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| ①月1回の定例会 | ②連合町内会出席、および各行事の参加 |
| ③学校行事への参加 | ④印刷物配布及び取りまとめ |
| ⑤関係官庁行事への出席 | ⑥敬老の日のお祝い |
| ⑦防災訓練（緑小地域防災拠点運営委員会） | |
| ⑧親睦行事開催（年末階段清掃、防災訓練等） | |
| ⑨募金活動への協力 | ⑩資源回収の実施 |
| ⑪防犯パトロール | ⑫自治会費の回収 |



令和2年度の活動は感染症拡大の影響で中止が相次ぎましたが、自治会・理事会・防災を考える会で行った防災訓練（安否確認）では各住戸で黄色いタオルを玄関ドアへ掛ける方法が今年で3年目になり、定着してきたとの一定の成果を感じています。年末恒例のお餅の配布は、密になるのを避ける為、役員が各戸へお届けしました。

住民の高齢化が進む中少しでも住民同士の交流を図れるような活動を今後も続けていきたいと考えています。

鴨志田町内会

会長 戸塚 昌行

鴨志田町内会は金子石油や、クリエイトがある鴨志田中央の交差点を中心に約1200世帯が加入している町内会になります。平均220世帯ほどのブロックが5つあり、鴨志田緑小学校ブロックが1から3ブロック。鴨志田第一小ブロックが4、5ブロックとなっています。

鴨志田町内会の活動の主な目的は「つながっていくこと」と考えています。お隣同士のつながり、町のお店とのつながり、行政とのつながりなど、そのつながりの間に町内会が入って、この鴨志田町全体のつながりができていくことにより、安全安心の街づくりができていけばよいなあと考えています。

一昨年度より、廣田新聞鴨志田店の皆さんが、回覧板や広報紙などをお店で配分し、組長さんのお宅まで届けてくださっています。これには大変助かっており組長さんのご負担もだいぶ少なくなりました。ぜひ鴨志田町で新聞を配達しているバイクを見かけたら、声をかけてください。



「沿道美化運動に日体大生が参加」

市営鴨志田住宅自治会

会長 阿部 良枝



市営鴨志田住宅は3階建て6棟から成り、100世帯足らずの小じんまりした住宅です。

自治会役員は持ち回りで毎年各棟から2人ずつ選出されますが、築年数に比例し高齢化も進み、交代時には年齢や体調について語られる事が多くなりました。

今年度は女性だけの役員となり、高所や力仕事等男性陣に助けられています。

一昨年からのコロナ感染で、地域行事のほとんどが中止となり自分達に何が出来るか考えていました。自粛生活で疲れている住民を励まそうと、8月と11月に思い切って集いを開きました。住宅内での小さな広場で、住民によるハーモニカとジャズギターの演奏、簡単な体操もしました。

音響の依頼をした団体から、小学生のヒップホップダンスが披露され好評を得ました。

コロナ禍の中、小さな自治会だからできたと思いますが、更に温かみのある住民関係が築ければと感じています



鴨志田緑自治会

会長 小林 香織



公団鴨志田東地区の345世帯からなる緑自治会は会員相互の親睦と福祉を増進し、明るい平和な街の発展を図ることを目的としています。

今年は、コロナウィルスの影響もあり数々のイベントが中止となりました。

子どもたちが楽しみにしている映画会、ドッジボール大会、夏祭り、運動会とさらに地域の交流にもなるふれあい清掃とすべてのイベントが中止となり自治会としてもどうしたらよいものか悩んだ1年でした。

イベントのご紹介をしたいところですが、今期は難しいのでわたしが緑自治会会長として感じた1年を少しお伝えできればと思います。

何も分からず始まった会長の仕事は本当に未知の世界で・・・何かあるたびに前任会長の高山さんをはじめ、地域コーディネーターの黒木さん、連合町内会会長の奥田さん、鴨志田町内会の戸塚さんと先輩方にお聞きしてばかりのスタートでした。そんな状況の中、私を追い詰める・・・コロナウィルス。回覧板はどうする・・・班長さんが集まる定例会は？コロナウィルスがおさまるまで中止にするのかそのまま続けるかすごく悩みました。

私が出した結論は『回覧板・定例会は中止、暫くは掲示板とホームページの情報掲示』でしたが、この決断が最善だったのか今でも、自問自答している日々です。何もできなかったこの1年を変えていきたい！もっと違った考え方も出来るかもしれない！

来期も会長を続投するつもりでおります！

今までは掲示板に情報掲示しています。（じゃあ掲示板までなかなか出歩けない高齢者の方はどうする？） ホームページに情報掲示しています（ネットが見れる環境にいない高齢者の方もいる。）

来期はまた違った案で緑自治会の皆様に少しでも貢献できるよう努めてまいります。不慣れな点やご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、皆さまのお力添えを頂きますようまた皆様にも、ご無理のない範囲で自治会活動への参加を引き続きどうぞ宜しくお願い致します。

たちばな台町内会

「新型コロナ感染状況下での町内会活動」

会長 石保武夫

未知のウィルスに翻弄される状況で各種イベントを中止せざるを得ませんでした。最大行事の夏祭り「どんたく」中止は何よりも命を優先した決断でした。刻々と変化する情報を取り込みながら感染対策をし、実施してきた主な町内活動を紹介します。

町内会活動の中心は住民への情報連携の定例会は4月と5月は集まっての会議を取りやめ、資料持帰りで実施。6月以降は班長・委員を2回に分け人数を減らしソーシャルディスタンスをとり開催。また、窓の全開・机の消毒・マスク着用で行いました。



「まちなかクラブ」の前で

た。

そんな中でも活動できた行事もあります。

- ①防犯パトロール 6月再開、月3回実施
- ②町内会独自防災訓練
- ③環状4号沿いクリーンウォーキング
- ④連合町内会鶴見川清掃参加
- ⑤地域防災訓練（ハマッコトイレ設置訓練、助けあいカードによる訪問訓練）の参加などです。

また、今年度初めて⑥鴨志田地域ケアプラザさんによる下記講義を町内会館において実施しています。



「研修の様子」

- ・ケアプラザとは？ケアプラザの概要、機能とできること
- ・介護保険制度とサービスの概要
- ・そのとき！どうする！困ったときの事例検討
- ・認知症について（予定）

また、たちばな台町内会には下記の親睦活動があります。主旨は歳を重ねるごとに毎日、人と関わるきょうよう（今日用事がある）、きょういく（今日行く所がある）が大切になってまいります。



クリーンウォーキング

会員相互の親睦を図り、いつまでも元気で、各位のキャリアを発揮する場として大いに活用しています。今年度はコロナ感染状況が続いたため、活動が制限され例年より活動回数は少ないですが、町内会としても後方支援し、「まちなかクラブ」を拠点場所として利用しています。

- ①カラオケ部 ②釣り部 ③ゴルフ部 ④家庭菜園部
- ⑤アウトドア部・写真部 ⑥ゆっくり・さんぽの会 ⑦民謡踊り部
- ⑧グランドゴルフ部 ⑨歌声部

おめでとうございます

青葉まちの美化推進功労団体の表彰（令和2年11月20日）

市営住宅敷地や周辺の地域において15年以上、花壇の花の世話や除草など、年間を通じて積極的に美化に努めたとして市営鴨志田住宅自治会緑化部代表の「油川 正樹」さんに表彰状が授与されました

地域防犯活動

青葉区防犯功労者	鴨志田町内会	宇野 弘さん
神奈川県防犯功労団体	中里北部連合町内会	
横浜市防犯功労団体	中里北部連合町内会	
（地域安全活動指定地区として）		

スポーツ推進委員 永年勤続表彰（令和3年 1月17日）

30年勤続	横浜市長表彰	西村 進さん
10年勤続	横浜市長表彰	安江 博さん

鶴見川西岸清掃

*** 地域の美化にご協力を！***

副会長 大曾根 孝一

令和2年10月25日（日）秋晴れになりました。コロナ禍ですが「三つの密」を徹底的に避ける、「人と人の距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」等の基本的な感染対策を行うなど十分な対策の上40名余の自治会、町内会長及び地域の皆様方の参加をいただき、遊歩道の空き缶・空き瓶（各軍手、トンゴ配布）などを拾いました。今回収集した中には不法投棄がかなり有りました。

これからもまちの美化推進運動を継続して行きたいと思います。地域の皆様のご協力をお願い致します。



「出発前の挨拶・説明」



「集められたゴミの山」

たちばな台（旧成合村）の歴史

「旧成合村」が、昭和 42 年～46 年の土地区画整理事業の施行に伴い、鴨志田町・成合町の各一部から新設されて、「たちばな台」となりました。

町名は隣接する町が桜台であることから、「右近の橘、左近の桜」の故事に因み、古くから人々に好まれ縁起の良い木であることから「たちばな台」と名付けられました。

【たちばな台町内会ホームページ「たちばな台の今昔」に詳しく述べられています】

成合村は、鎌倉・室町時代から、数百年の歴史があり、明治 22 年の市町村制施行の際、寺家村・鴨志田村・上谷本村などと合併して、都筑郡成合村から、中里村大字成合となりました。昭和 14 年に中里村が横浜市に編入された時に、新設された成合町は区画整理などにより、町の区域が削られて、現在は横浜市で最も小さい（広さは約 0.012 km²）町域になりました。

世帯数：34 世帯、人口：46 人（2020 年 5 月）

成合町の位置



【成合村の鎮守「子ノ神社」】

編集後記

コロナ感染防止のため、計画していたイベントがほとんど中止になり、「運動会」「マラソン大会」などの活動ニュースがなく、連合ニュース発行の中止を考えていた時に、自治会・町内会の会長さんから、強力なバックアップのお話をいただき、『自治会・町内会の紹介』特集号として発行することが出来ました。コロナ対応で大変お忙しい中、原稿を作成していただき大変ありがとうございました。心より御礼申し上げます。

これからは、「マスク」「うがい」「手洗い」を徹底した新しい生活様式で、コロナを収束させて、中里北部地域の明るいニュースをお届けしたいと思っています。

広報担当：久保木 俊男・大曾根 孝一・小暮 定則

新型コロナウイルスの感染拡大に乗じた詐欺・

悪質商法の手口に注意！！